

至民

校訓：自主・誠実・根性

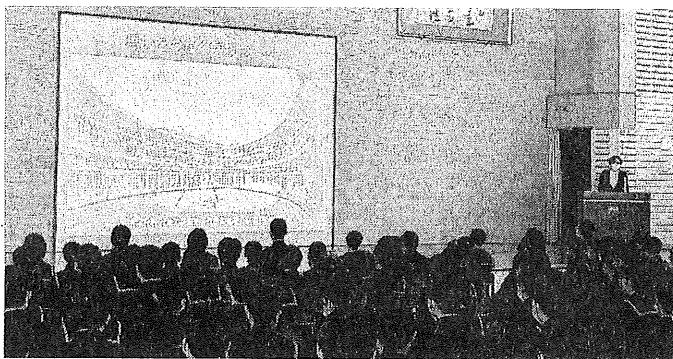
福井市至民中学校
学校だより 第2号
令和5年6月12日

TEL(0776)35-3840 FAX(0776)35-8012

URL <http://www.fukui-city.ed.jp/shimin/j/>

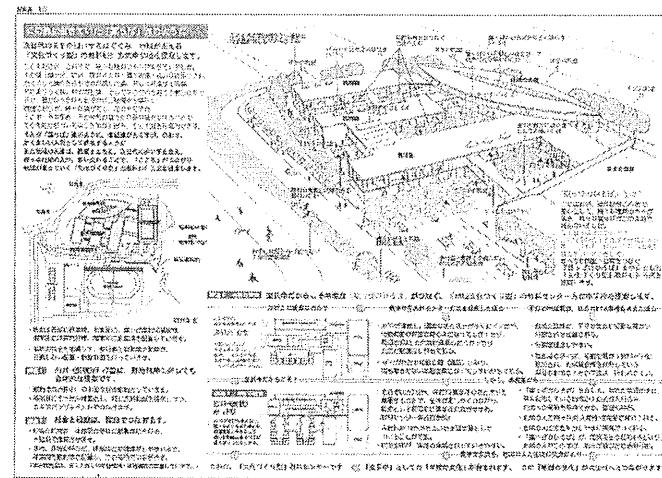
○移転開校当時の話を聞きました

至民中学校は、今の場所に移転して16年目になります。5月1日の開校記念集会では、校舎を設計した柳川奈奈さんを講師としてお迎えして、移転開校にまつわるお話を聞いていただきました。当時の生徒、保護者、職員、地域や工事関係者の方々の熱い思いを知ることができました。



学校を設立するために3万人ほどの多くの人が尽力してくださっていることに感動した。みんなの思いを無駄にしないよう、学校生活をがんばってもらいたい。(保護者)

これからも生徒や先生方を始め、地域の方にも親しみや愛情を感じられる至民中学校であればよいと思います。次の世代にもきれいなままの校舎を残していくたいですね。(保護者)



葉っぱ、一枚一枚にいろいろな役割があります。
樹木ごとで、葉っぱの形も違うし、役割も違います。
岩野にも、落ち葉にも役割があります。

そんな葉っぱのように
自分の役割をみつけて、一人一人が輝ける、
そんな学校であってほしい。



学校って、なんだろう？

みんなで つくり続けるもの。

中学生のチカラが発信できる
学校をつくってほしい。

この学校はたくさんの人々の思いがつまっているんだなと思いました。私自身も学校生活を過ごしていて、とても楽しいです。開放感のある校舎がさわやかな気分にさせてくれます。現場の人や以前の生徒さん、設計された柳川さんの思いを胸にこれからがんばっていきたいです。(1年)

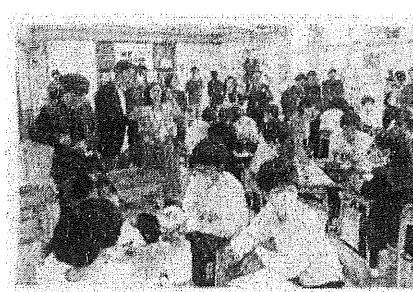
私は、柳川さんのお話を聞いて、毎日通っているこの新しい至民中学校は、たくさんの人たちの思いがつまっていることが分かりました。大人たちの意見だけでなく、当時私たちと同じくらいの年齢だった子たちの意見もあって、その子たちは新しくなった至民中学校に通うことができないと分かっていたのに、私たちのために子ども目線の意見を出してくつろぎました。感謝したいです。(2年)

私が思っていたよりもたくさんの人が関わっていて設計するのにもたくさんの人の思いがつまっているということがわかりました。学校は創ったところで終わりではなくて、使っている生徒一人一人がつくっていくということを聞いて、自分もできることをしてこの学校をよりよくしていきたいと思いました。教科センター方式、めずらしい学校をつくるのは大変なことがたくさんあったと思うけど、そんな中でつくってくれた人たちに感謝したいです。(3年)

○国際交流が進んでいます

5月18日には、韓国の教員視察団が来校されました。

また、5月31日には中国浙江省杭州市の四季青中学校とオンラインで交流し、それぞれの学校を紹介し合いました。



「生徒表情明るい」
韓国教員団が視察
日本の教育環境を学ぼう
と、韓国教員団が18日、福井市至民中を訪れた。

福井の中学校授業

約30人が教室を回り、生徒に積極的な発言を促す授業風景をじっくりと見学。韓国でも子どもの主体性をどう引き出すかが課題になっているといい、熱心にメモを取っていた。

韓国政府が学校の管理職に義務付けている海外研修の一環。福井大連合教職大学院が窓口となつて受け入れ、前至民中校長の小林真由美・同大学院教授が案内役を務めた。あるクラスの国語の授業「写真」では、作者の意図についてグループで話し合う様子を観察。

仁川市の中学校長は「生徒の表情が明るく、授業を楽しんでいる」と印象を語った。

学校交流協定書（学校交流合意書）

此次、中國杭州四季青中学校（派遣学校）と日本福井市至民中学校（接待学校）于2018年5月18日就学生往来及交流如下协议：

この度、中国杭州四季青中学校（派遣校）と日本福井市至民中学校（受け入れ校）は、2018年5月18日、両校の教員会議による学校交流を以下のとおり、行うことにしておる。

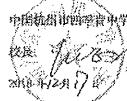
一、両校共平等、互恵的基礎上开展交流。平等互恵の基に、両校は交換を行なう。

二、両校互換各自特色、教員升級教員及学生之間的交流和体验活動、以及友好关系和相互了解。両校はそれらの特色を活かした教員・生徒両士の交流や体験を積極的に行い、友好と相互理解を推進する。

三、生平交換経費、別途旅費、交通費、宿泊費、伙食費等在外逗留費用均由派遣学校負担。交換に関する経費について、該款額、支拂額、滞在日、在留等は派遣校が負担する。

四、英語・韓語の具体交流内容。在杭州中学校との基礎上達成一段、并報酬額等用意して交換交流、両校間の具体的な交流内容は、予め対等の協議を経て台帳し、開示各校間が承認の上、実施する。

五、本協定書一式兩份、双方代表捺印及び署名、各自保管一冊、各自所持協定書真剣に守ら。本合意書は一式二部を作成し、双方が捺印印上、各1通保管し、いずれも両方に通知を待つものとする。



日本福井市至民中学校
校長 佐々木 淳
2018年5月18日

2018年に交わした学校交流合意書



画面に映し出された中国の四季青中の生徒らに手を振る至民中の生徒たち=福井市至民中で

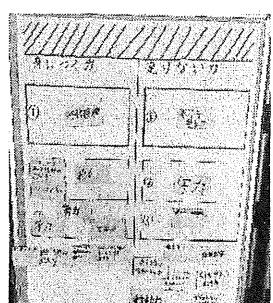
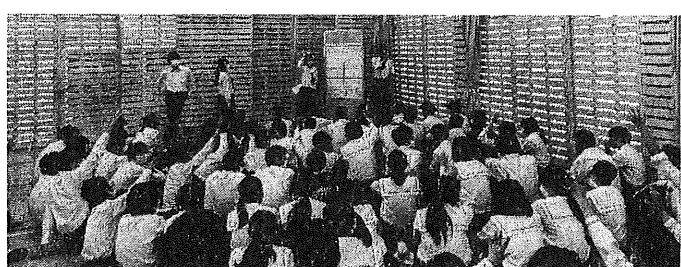
福井市至民中学校の三年生三百人が、中国浙江省杭州市の四季青中学校などにてオーディオ通話アプリを使って交流し、お互いの学校を紹介した。

至民中と四季青中は2018（平成30）年から学校交流の協定を結んでいた。「20年に対面での交流を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で中止。オンラインで両校つなぎ、画面を通じて、初めて交流することになった。至民中の生徒は葉っぱの形をした校舎の特徴を映像で見せながら話した。私たちが卒業しても交流を続けてほしい」と喜んだ様子だった。

日本中国友好協会と国際交流に取り組む浙江省の団体が、友好関係の三十周年のほか、杭州で9月に開かれるアジア大会を記念して企画した。（小林未歩）

○生徒総会が開かれました（5月19日）

今回は、各委員会・係会の活動計画だけでなく、クラスターごとに分かれて、至民中学校で身につく力、足りない力について話し合いました。



6月8日（木）日刊県民福井より

※カラー版は、HPに掲載しています。

オンラインで学校紹介